

伝統ある横浜スカーフのデザインを活かした 新商品を(株)ありあけが販売中!

横浜市工業技術支援センターでは、横浜スカーフの中でも、優れたスカーフデザインを「横浜スカーフ・アーカイブ」としてデータ化して保存しています。今回、このデータを活用し、横浜らしいパッケージデザインの商品が実現しました。



横浜シルクショコラ
(10個入り)
800円(税込)

このパッケージに 注目!

横浜シルクスカーフは、横浜の代表的な地場産業として栄え、世界の約50%、国内の約90%のシェアを誇っていました。

こちらのパッケージには、当時のスカーフ捺染の様子も写真で掲載しています。

同センターでは、デザインを閲覧することもできます。ぜひ、伝統ある横浜スカーフのデザインを商品販売などにご活用ください。

横浜駅(※1)、桜木町駅(※2)において、「横浜シルクショコラ」が販売されております。これは、横浜に本店のある「(株)ありあけ」が手掛ける(株)JR東日本リテールネット一部店舗での限定商品となっております。「食べる絹」シルクパウダーを混ぜた、やわらかな食感のお菓子です。帰省や出張時の、横浜土産にピッタリです!!

(※1) NewDays 横浜中央店・横浜中央北店・横浜南口店
NewDays KIOSK 横浜みなみ改札店

(※2) 横浜銘品館桜木町店、NewDays 桜木町店



.... 〈横浜シルクスカーフの歴史〉



1950年ごろ スカーフ捺染の様子

出典:協同組合 ギルダ横浜

日本におけるシルクの代表的な輸出港である横浜で生まれた100%シルクのスカーフは、世界最高水準の技術で織りなす「横浜スカーフ」と呼ばれ、世界中に輸出されていきました。かつては大岡川や帷子川沿いに捺染工場が立ち並び、横浜の代表的な地場産業として栄え、世界の約50%、国内の約90%のシェアを誇っていました。

本製品は、株式会社ありあけが横浜スカーフの歴史を参考に開発した商品です。パッケージデザインの基となった右のスカーフは「横浜スカーフ・アーカイブ資料」として保管されています。



お問合せ先

【製品に関すること】	株式会社ありあけ 広報室長	上原 淳一郎	Tel. 045-662-0880
【スカーフアーカイブに関すること】	経済局工業技術支援センター長	岡部 伸雄	Tel. 045-788-9010

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。